

令和7年度の取組方針（案）

令和7年度の取組方針（案）

継続・強化する取組

□関係事業者間のマッチングフォーラムを開催します。

開催予定：近畿地域、北陸地域、東京など
テーマ案：広域連携

□国内肥料資源の利用拡大プロジェクトを推進します。

会員の取組等の情報発信、
ロゴマークの活用普及など

□国内肥料資源シンポジウム・交流会等の実施支援します。

□国内肥料資源の活用事例を収集・整理します。

130事例の掲載を目指す(現在102事例掲載)
関係事例のリンク等整理

□関係事業者のリアルタイムな情報を発信します。

□第2回国内肥料資源活用アワードを開催します。

マッチングフォーラムin東京において
表彰式を同時開催

新たな取組

□各自治体における資源活用方針の検討を促します。

農林漁業循環経済先導計画、
地域バイオマス活用推進計画等の検討
需給マップの活用

新たな取組について（背景等）

各自治体における資源活用方針の検討を促します。

これまでの実績

- 令和5年度以降、計6回のマッチングフォーラムを開催。

（東京、熊本、仙台、名古屋、広島、札幌）



- マッチングフォーラムに多数の関係者が来場し、活発な交流が行われ、商品ベースでのマッチングが進む。

（肥料原料供給事業者、肥料メーカー、肥料利用者、肥料販売事業者、肥料関係機械メーカー、自治体、JAグループ等）

今後の課題

- 全国においては、
 - ・ 各地域で肥料として活用できる未利用資源が多いが十分に利用されていない。
 - ・ 未利用資源が多いが、これ以上の地域利用は困難。
 - ・ 未利用資源がそれほど多くない。という地域的問題がある。

（家畜ふん堆肥、下水汚泥、食品残さ等）

- （地域循環、）広域流通に必要なマッチング機会や各種情報が少ない。

対応策

（次ページ参照）

- 各自治体単位で、未利用資源の情報収集をしたうえで肥料需要量についてマップ化を行う。
- そのマップをもとに地域での資源の活用方針（P）を検討。



- 一層の国内資源由来肥料の活用推進を目指す。

そのマップを作成し、肥料利用を促すと共に、別途、農林水産省において、推進している「農林漁業循環経済先導計画」「地域バイオマス活用推進計画」等の検討にも寄与。